

カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-410/400

Sony Corporation © 2001 Printed in China

品名 カセットコーダー
型名 TCM-410/400
保証書 T02-1

ここに保証書があります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保証書完成菲林。

在此位置插入保証书以完成胶片。

安全のために

△危険

- 充電アダプターのポケットにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を入れないでください。充電アダプターの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+と-がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

△注意

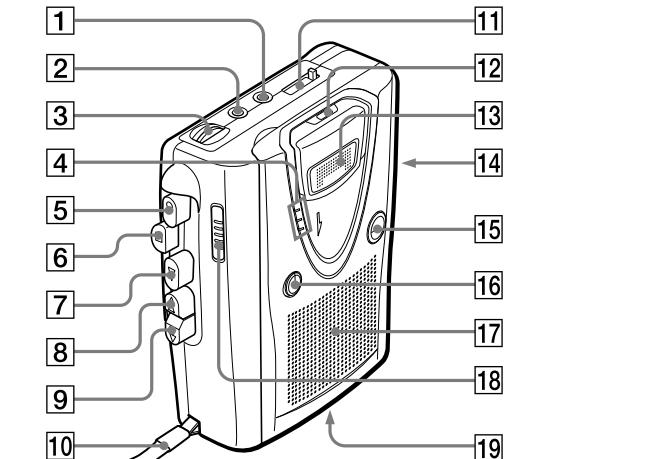
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える、録音時間2倍モード*搭載。
- 電池の残量を確認する電池ランプと電池交換お知らせランプ。
- テープの再生スピードを約+30～約-15%の範囲で速めたり遅めたりできる、再生スピード調節機能（スピードコントロール）。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップボーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗がありません。
- 発言者の声を明瞭にとらえる Boundary effect 収音方式の、フラットマイク内蔵。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まる VOR（自動音声録音スタート）機能。
- * 本機の2倍モード（2.4 cm/s）で録音したテープは、2倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

この取扱説明書はTCM-400とTCM-410共用です。TCM-410はTCM-400本体にACパワーアダプターと充電アダプター、充電式電池、充電池ケースが付属されたセットです。

各部のなまえ



- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| ① イヤホンジャック | ⑨ ▶▶早送り/キューボタン |
| ② マイク (プラグインパワー) ジャック* | ⑩ ハンドストラップ |
| ③ 音量つまみ | ⑪ テープカウンター |
| 音量「大」の方向に凸点がついています。操作の目印としてお使いください。 | ⑫ VORスイッチ |
| ④ 録音、電池、△ (電池交換お知らせ) ランプ | ⑬ フラットマイク |
| ⑤ ●録音ボタン | ⑭ 電池入れ |
| ⑥ ■停止ボタン | ⑮ スピードコントロールつまみ |
| ⑦ ▶再生ボタン* | ⑯ 標準/2倍モードスイッチ |
| ⑧ ◀◀巻戻し/レビュー ボタン | ⑰ スピーカー |

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

準備する

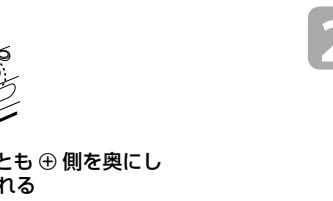
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントや充電式電池での使いかたは、「電源について」（裏面）をご覧ください。

1 乾電池を入れる

① 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



② 単3形乾電池2本を入れる



乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をお使いください。

△注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

TCM-410をお使いの場合は

充電した充電式電池を入れます。充電のしかたは「充電式電池を充電する」（裏面）をご覧ください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。



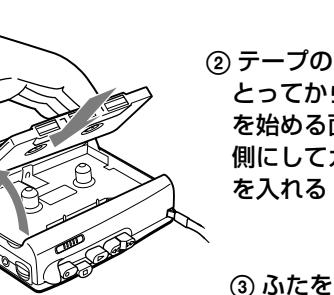
*

録音する

内蔵マイクで簡単に録音できます。録音にはノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。ハイポジションテープ（TYPE II）、メタルテープ（TYPE IV）では正しく録音できない場合があります。

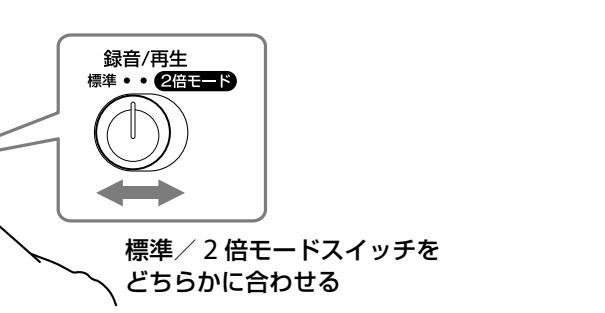
1 カセットを入れる

① 手でふたを開ける



- ② テープのたるみをとってから、録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる
③ ふたを閉める

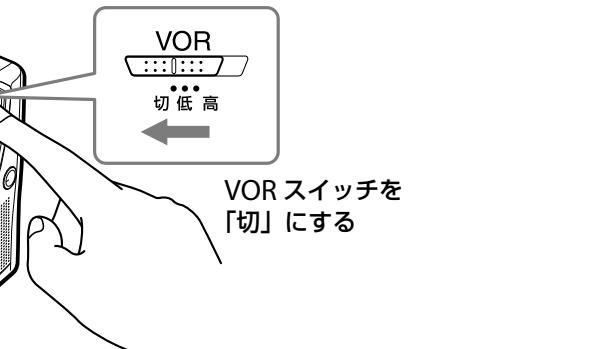
2 録音時間を選ぶ



標準：通常の録音をするとき。
(4.8cm/s) 「2倍モード」のときより良い音で録音できます。
2倍モード：テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。
(2.4cm/s) 会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。
(60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます)

3 VOR (自動音声録音スタート) 機能を解除する

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VORスイッチは「切」にしておいてください。VOR機能を使った録音については、「音がしたとき自動的に録音を始める（VOR機能）」（裏面）をご覧ください。



4 録音する

発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置いてください（Boundary effect方式）。

1 カセットを入れる



- ① 録音ボタンを押す
▶▶再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

録音中は、音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります。テープの終わりまで来ると、自動的に止まります。

操作

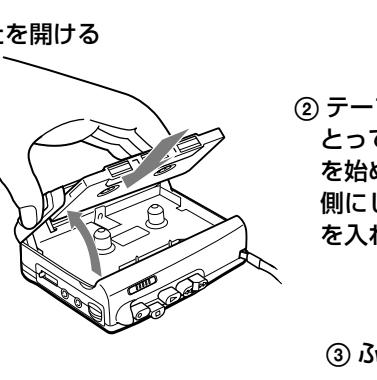
- | | |
|-----------|--------------------------|
| 録音を止める | 押すボタン、すらすスイッチ |
| ■停止 | ■停止 |
| 一時停止する | 一時停止 → |
| | 一時停止解除するには、一時停止 → を元に戻す* |
| カセットを取り出す | ■停止を押してから、手でふたを開ける |

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップボーズリリース機能）。

テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。ノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。

1 カセットを入れる



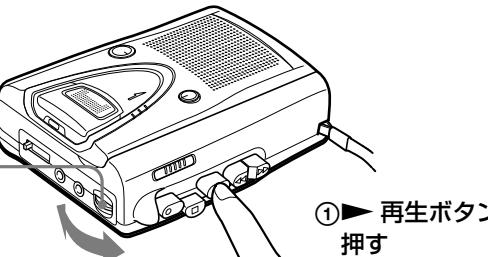
- ① 手でふたを開ける
② テープのたるみをとってから、再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる
③ ふたを閉める

2 「標準」または「2倍モード」を選ぶ



- 標準/2倍モードスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせる

3 再生する



テープ速度がおかしいときは、標準/2倍モードスイッチの位置を確認してください。
テープの終わりまで来ると、自動的に止まります。

操作

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 押すボタン、すらすスイッチ | ■停止 |
| テープを止める | ■停止 |
| 一時停止する | 一時停止 → |
| | 一時停止解除するには、一時停止 → を元に戻す* |
| 早送りする** | ▶▶早送り/キューポン |
| 巻戻す** | ◀◀巻戻し/レビュー |
| 音を聞きながら | 再生中に▶▶早送り/キューポンを押し続ける |
| 音を聞きながら | 再生中に◀◀巻戻し/レビューを押し続ける |
| 巻戻す(レビュー) | ■停止を押してから、手でふたを開ける |
| カセットを取り出す | ■停止を押してから、手でふたを開ける |

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップボーズリリース機能）。

** 早送り、巻戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急速に消耗するので、必ず■停止ボタンを押してください。

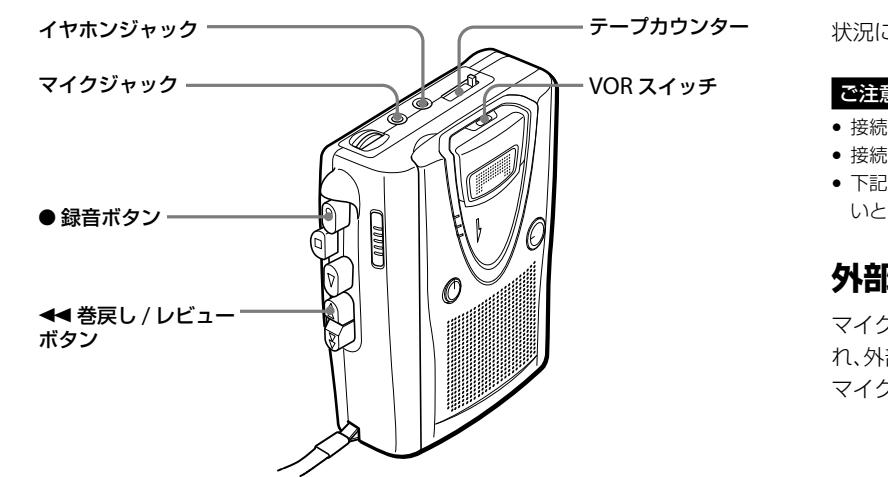
別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックに差すと、両耳から聞こえます（ただし、音声はモノラルです）。

レビュー操作時の注意

レビューをしてテープの端まで巻き取られたとき、ボタンから指を離しても再生にならないことがあります。そのときは、いったん■停止ボタンを押して、再生を始めてください。

▶ 録音する一応用

録音の便利な機能を使う



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にしておくと、録音の頭出しに便利です。

音がしたとき自動的に録音を始める（VOR機能）

VORスイッチを「高」または「低」に切り替えます。

録音の状態	スイッチの位置
小さい音でも録音が始まる （会議などを録音するとき）	高
比較的大きな音のときだけ録音が始まる （口述録音するとき）	低

● 録音ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間が省けるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

録音中にVORスイッチを切り換えることもできます。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてVORスイッチを「高」または「低」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、録音の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞くには

別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。

聞こえる音量は一定で、音量つまみで調節することはできません。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたもの的一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものすぐに聞く (ワンタッチレビュー)

録音中に◀◀ 巻戻し/レビューボタンを押すと、押している間はテープが巻き戻され、離すとそこから再生が始まります。

外部マイクや他の機器から録音する

状況に合わせてVOR機能もお使いいただけます。

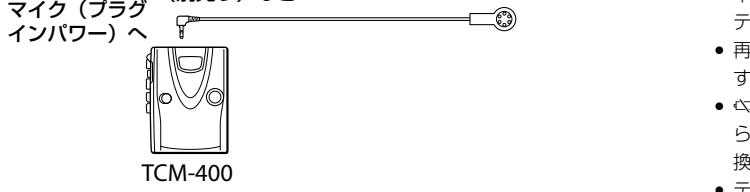
ご注意 録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。また、充電式電池（TCM-410に付属）は充電してください。
- 下記の接続例はソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク（別売り）で録音する

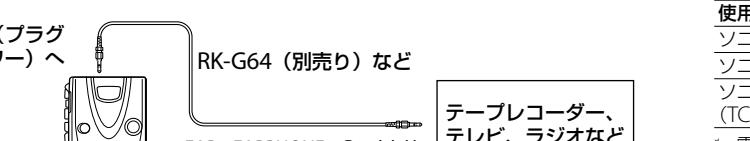
マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

ミニプラグ付きマイクロфон ECM-C10
(別売り)など



本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

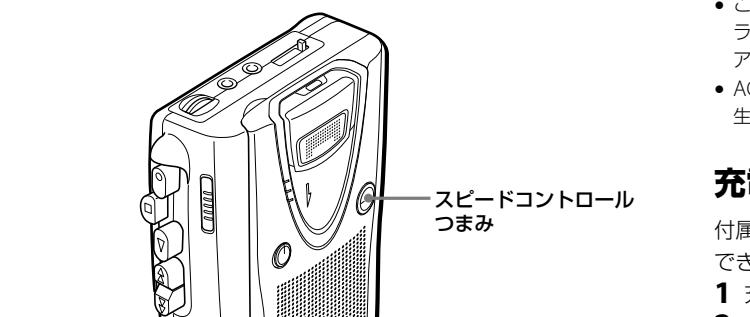
他の機器から録音する



1 本機にカセットを入れます。
2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。（テレビやラジオのREC OUTや■ジャックなどから録音するときは、他の機器で音量を変えて録音には影響しません。）
3 本機の●録音ボタンを押します。

▶ テープを聞く一応用

再生スピードを調節する



再生速度 つまみの位置
ゆっくり再生する 遅い
通常の速度で再生する 中央
速く再生する 早い

付属の充電式電池は、約8時間で充電できます。

ご注意

- 充電が完了してもランプは消えません。
- 充電式電池は2本同時に充電してください。1本だけ充電することはできません。

▶ 電源

電源について

電池を交換する時期

電池が消耗すると、△（電池交換お知らせ）ランプが点滅します。電池ランプが暗くなり、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。乾電池は2本とも新しいものと交換してください。また、充電式電池（TCM-410に付属）は充電してください。

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をお使いください。

録音 電池ランプが点灯 残量は充分です。

電池 電池ランプが点滅 乾電池を交換してください。

△（電池交換お知らせ）ランプが点滅

ご注意

- 早送り（キュー）／巻戻し（レビュー）中に△ランプが点滅することがあります。テープが正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 再生中に音量上げたときなどに音量に応じて電池ランプがちらつくことがあります。電池を交換する必要はありません。
- △ランプが点滅し始めたとき、しばらくはテープが正常に動きますが、スピーカーから大きな雑音がたり正しく録音されていないことがありますので、必ず電池を交換してください。
- テープの動きは止めやテープの終わりで△ランプが瞬間に点滅することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、電池を交換する必要はありません。ランプがすぐに消えた場合は、電池を交換する必要はありません。

使用上のご注意

充電について（TCM-410のみ）

- 付属の充電アダプターでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電中はACパワーアダプターや充電式電池が熱くなります。危険ではありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 付属の充電式電池は約500回充電できます。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電が終わったら、早めに充電式電池を充電アダプターから取り出し、ACアダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままでいると、電池の性能を低下させることができます。

** 日本製ソニースタミナアルカリ電池LR6(SG)で測定しています。

ご注意

電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

- 付属のACパワーアダプター（TCM-410のみ）または別売りのAC-E30Lを本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

- この製品には、指定のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターをご使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACパワーアダプターは、容易に手に届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

充電式電池を充電する（TCM-410のみ）

付属の充電アダプターとACパワーアダプターを使って充電式電池を充電できます。

- 充電アダプターに充電式電池を入れます。
- 充電アダプターにACパワーアダプターをつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

充電アダプター 充電ランプ コンセント
ニッケル水素充電池 充電ランプ ACパワーアダプター

付属の充電式電池は、約8時間で充電できます。

ご注意

- 充電が完了してもランプは消えません。
- 充電式電池は2本同時に充電してください。1本だけ充電することはできません。

▶ その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

- 10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャブスタン、ピンチローラーをクリーニングします。
- ヘッドやピンチローラーが出てきますので、綿棒などできれいに拭いてください。
- 録音ボタンを押し込みます。
- レバーを押しながら、ヘッドやピンチローラーが出てきますので、綿棒などできれいに拭いてください。
- 長時間テープについて
- 90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののが悪くなることがあります。
- エンドレスカセットテープについて
- エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間本機を使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回ししてください。良い状態でお使いいただけます。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー やベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

充電について（TCM-410のみ）

- 付属の充電アダプターでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電中はACパワーアダプターや充電式電池が熱くなります。危険ではありません。

お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。

付属の充電式電池は約500回充電できます。

充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。

充電が終わったら、早めに充電式電池を充電アダプターから取り出し、ACアダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままでいると、電池の性能を低下させることができます。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープを貼つて充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ <http://www.baj.or.jp/> を参照してください。

ご注意

電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

- 付属のACパワーアダプター（TCM-410のみ）または別売りのAC-E30Lを本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

- この製品には、指定のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターをご使用すると、故障の原因になります。
- ACパワーアダプターは、容易に手に届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。（ハイポジション／メタルテープでは正しく録音できないことがあります。）
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイ克を使っての録音はできません。

内蔵マイクを強く押さないでください。マイクが変形し、雑音の原因となります。

録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づげると、ノイズが入ることがあります。

録音中はスピーカーから音は出ません。別売りのイヤーレシーバーで聞いてください。

録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります（ハウリング現象）。この場合はイヤーレシーバーをはずしてください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折って穴をふさぐと再び録音できます。

再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。ツメを折って穴をふさぐと再び録音できます。

再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。ツメを折って穴をふさぐと再び録